

別紙 2

名称	郵便番号	住所	窓口	電話
北海道運輸局	060-0042	北海道札幌市中央区大通西 1 0 丁目 札幌第 2 合同庁舎	自動車交通部旅客第 2 課	011-290-2742
東北運輸局	983-8537	宮城県仙台市宮城野区鉄砲町 1 仙台第 4 合同庁舎	自動車交通部旅客第 2 課	022-791-7530
関東運輸局	231-8433	神奈川県横浜市中区北仲通 5 - 5 7 横浜第 2 合同庁舎 1 8 階	自動車交通部旅客第 2 課	045-211-7246
北陸信越運輸局	950-8537	新潟県新潟市万代 2 丁目 2 番 1 号	自動車交通部旅客課	025-244-7579
中部運輸局	460-8528	愛知県名古屋市中区三の丸 2 - 2 - 1 名古屋合同庁舎 2 号館	自動車交通部旅客第 2 課	052-952-8036
近畿運輸局	540-8558	大阪府大阪市中央区大手前 4 - 1 - 7 6 大阪合同庁舎第 4 号館	自動車交通部旅客第 2 課	06-6949-6446
中国運輸局	730-8544	広島県広島市中区上八丁堀 6 - 3 0 広島合同庁舎 4 号館	自動車交通部旅客第 2 課	082-228-3436
四国運輸局	760-0068	香川県高松市松島町 1 丁目 1 7 番 3 3 号	自動車交通部旅客課	087-835-6363
九州運輸局	812-0013	福岡市博多区博多駅東 2 丁目 1 1 番 1 号 福岡合同庁舎新館	自動車交通部旅客第 2 課	092-472-2527
沖縄総合事務局	900-8530	沖縄県那覇市前島 2 - 2 1 - 7	運輸部陸上交通課	098-866-0061

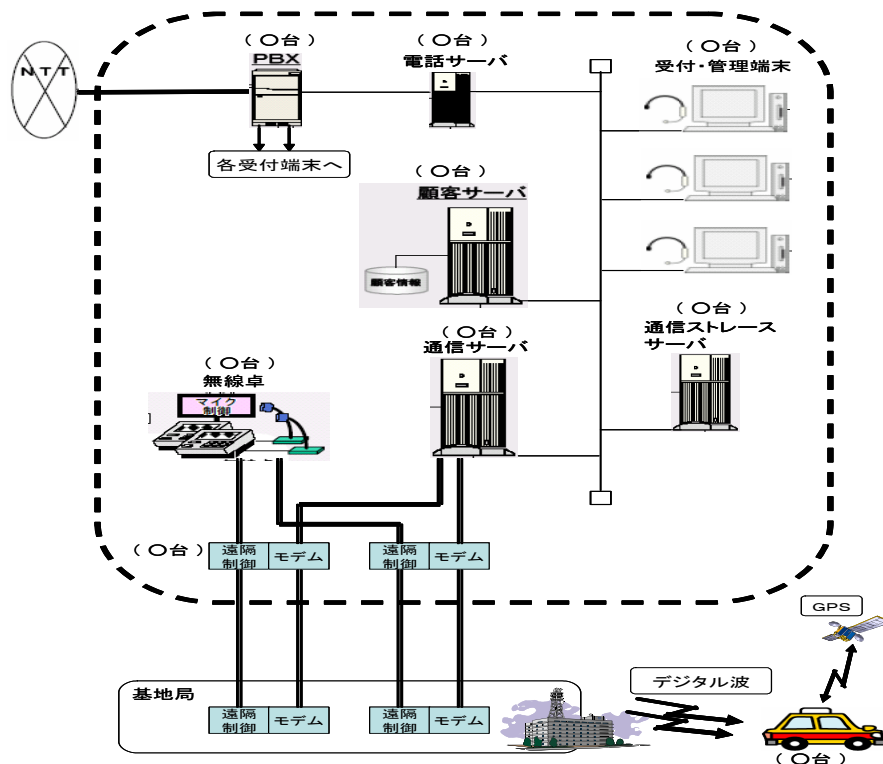
導入前後の比較図

導入前

現に使用されているタクシー運行管理・配車システム又は現に運用されているタクシー乗り場の現況

導入後

※点線等で囲んで補助対象範囲を明記すること。



別紙 4

省エネルギー効果の計算書（例）

1. 省エネ効果計算の考え方

デジタル式GPS-AVMシステムの導入によりタクシーの配車効率が向上し、迎車行距離の削減となることから総走行距離の削減となり燃料消費量が減少することとなる。なお、システム導入による効果を確実にするため、以下の考えで省エネ効果を確認するものとする。

「総走行距離燃料消費量を1%以上削減すること」かつ「1%以上の削減分が迎車燃料消費量の削減であること」

2. 計算方法例

①前年（導入前）の総燃料消費量（LPG／ガソリン）	(kl)
②前年（導入前）の総燃料消費量（原油換算）※1	(kl)
③前年（導入前）の総走行距離	(km)
④当該年（導入後）の総燃料消費量（LPG／ガソリン）	(kl)
⑤当該年（導入後）の総燃料消費量（原油換算）	(kl)
⑥当該年（導入後）の総走行距離	(km)

⑦前年（導入前）の迎車分燃料消費量（LPG／ガソリン）※5	(kl)
⑧前年（導入前）の迎車分燃料消費量（原油換算）	(kl)
⑨前年（導入前）の迎車走行距離 ※4	(km)
⑩当該年（導入後）の迎車分燃料消費量（LPG／ガソリン）	(kl)
⑪当該年（導入後）の迎車分燃料消費量（原油換算）	(kl)
⑫当該年（導入後）の迎車走行距離	(km)

- ・省エネ率： $(② - ⑤) \div ② = 〇.〇〇 (\%)$
- ・省エネ量： $② - ⑤ = 〇.〇 (kl)$
- ・費用対効果 省エネ量 (kl) / 経費 (円) = 〇〇〇 (kl / 円)
- ・1%以上の削減が迎車燃料消費量であることの確認
 $(⑧ - ⑪) - (② \times 1\%) = 〇.〇〇 kl$

（参考値）

A. 直近〇ヶ月の総走行距離	(km)
B. 直近〇ヶ月の迎車回送距離	(km)
C. B/A	

- ※1：LPG 1kl = 0.56 t LPG 1 t = 1.30kl として計算（例：① × 0.56 × 1.30）
- ※2：前年実績については、20年4月～21年3月の数値を用いる。
- ※3：前年の燃料使用量実績の確証（燃料油脂費が記載された事業損益明細表の写し、請求書等）を添付する。
- ※4：前年の迎車走行距離の実績がない場合は、少なくとも直近3ヶ月以上の迎車回

送距離を実測し、総走行距離に対する迎車回送距離の比率を前年度の総走行距離に乗じること等により、前年の迎車回送距離を説明出来ること。

(例) 直近の総走行距離 (1,500,000km)、直近の迎車距離 (120,000km)

直近の総走行距離に対する迎車距離比率 0.08

前年の総走行距離 (6,000,000km)

$6,000,000\text{km} \times 0.08 = \text{前々年度の迎車回送距離 } 480,000\text{km}$ (計算値)

※ 5 : 迎車分燃料消費量の算出は下記の算出 (例) を参考に説明出来ること。

(例) 迎車分燃料消費量 (kl) =

$\text{総燃料消費量 (kl)} \times (\text{迎車走行距離 (km)} / \text{総走行距離 (km)})$